

「リコー ビンタンの森」

現地業務報告



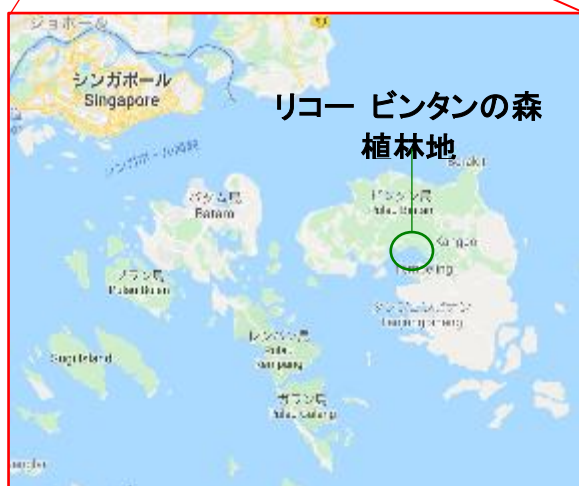
2024年01月（第9回目報告）

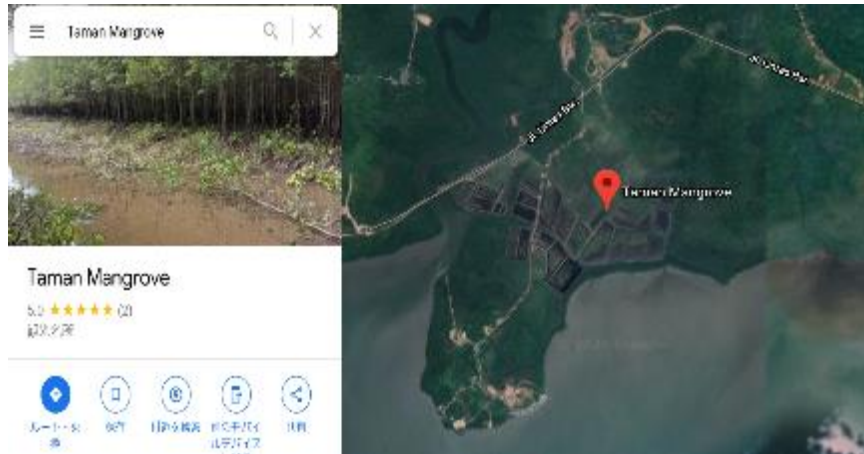
ワイエルフォレスト株式会社

1. 植林現場情報

植林現場は、ビンタン島中央部にあるペナガ海峡に面した沿岸域に位置します。

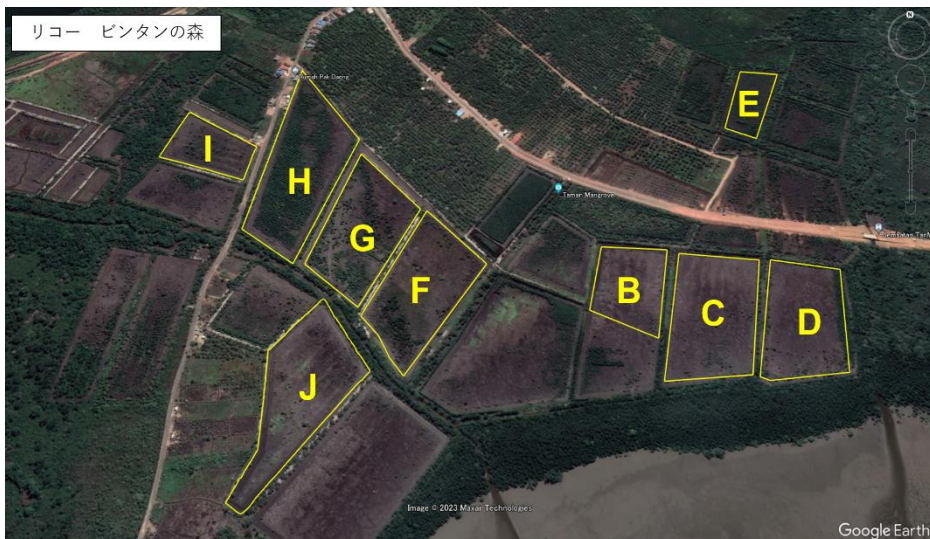
プロジェクト名	「リコー ビンタンの森」
植林現場	リアウ諸島州ビンタン島ペナガ Penaga, Teluk Bintan, Bintan Regency, Riau Islands
GPS 情報	1° 03'27.5"N 104° 25'43.1"E GoogleMap ; (https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7)
面積	約 29 ヘクタール (290,463 m ²)
土地	養殖池跡地を対象とする。 土地を所有する住民と YLF が提携し事業実施。 現場管理者：アディ氏





上記表中に記載の GoogleMap の URL(<https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7>)から、以下の地図が開きます。

植林現場は、9つに区画分けされた養殖池跡地で合計約 29 ヘクタールあり、各々の池面積は以下の表の通りです。



植林地番号	平方メートル(m ²)	ヘクタール(ha)
B	20,813	2.0813
C	37,682	3.7682
D	34,783	3.4783
E	13,400	1.3400
F	36,300	3.6300
G	38,000	3.8000
H	55,685	5.5685
I	19,100	1.9100
J	34,700	3.4700
合計	290,463	29.0463

現在までの「リコー ビンタンの森」植林実績としましては、

- ・ 2019 年度合計：10,000 本
- ・ 2020 年度合計：72,252 本
- ・ 2021 年度合計：56,923 本
- ・ 2022 年度合計：34,004 本
- ・ 2023 年度合計：40,000 本

累計植林本数は、213,179 本となっております。

2. 第 8 回目植林の様子

植林地 H

前回までの植林活動にて植林地 B、C、D、E、F、G 及び植林地 H の一部に植林が完了致しましたので、2023 年 10 月の第 8 回目の植林活動では植林地 H の未植林のエリアへ、2023 年度の 40,000 本の内、30,000 本の植林を実施致しました。



2023 年度の植林本数も記載しています。



「マングローブ愛好家」チームの方々も植林に参加していただいています。



植林地 I

植林地 I にはインドネシア政府がコロナ禍に対する住民支援の一環として 3 年程前にマングローブ植林を行ったマングローブが混在しています。植林後、管理がされていないマングローブ林をアディ氏自ら管理を行い、現在まで順調に成長しています。

今回植林したマングローブは 3 年程前に植えられたマングローブ同士の間の間隔を取って植林を行っています。植林地 I では現在半分ほどの面積にて植林が完了しており、2023 年度の 40,000 本の内、10,000 本の植林を実施致しました。残りの半分の面積には次回以降、リコー様のご要望に沿った植林を実施することが可能です。



植林地 I に植林を行った写真です。



既に双葉をつけています。



赤線内にある蕾から成長するにつれて双葉へと変わり、その後多くの葉をつけていきます。



3. 第9回目植林予定地について

植林地 J

第9回目植林に向けて、この度新たに植林地 J をご用意させていただきました。植林地 J の面積は 34,700 m²/3.47 ha となっております。

植林地 J 内に既に自然に成長しているマングローブもあることから、植林地 J においても順調に成長できると予想しています。一度下草刈りも完了していますが、次の植林の際にも再度調整を行う予定です。

植林地 J につきましても次回以降、リコー様のご要望に沿った植林を実施することが可能です。



植林地 J の西側のあぜ道から撮影しています。



4. 現地視察報告

植林地 B

植林地 B は第 1 回目（2020 年 3 月）及び第 2 回目（2020 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。2023 年 12 月時点で 3 年 3 カ月～3 年 9 カ月程が経過しています。

2020 年 3 月に植林したマングローブの樹高はアディ氏の身長を既に超えており、特に樹高が高いもので 2m を超えるマングローブも確認できました。2020 年 9 月に植林したマングローブも同じく順調に成長しており、大変多くの葉をつけ、支柱根を生やしています。

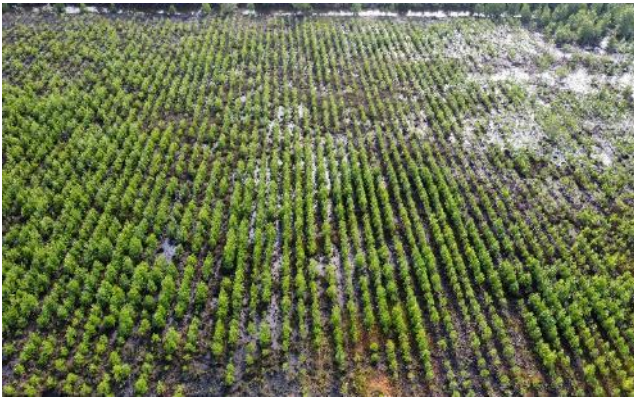
弊社社員が植林地 B のマングローブを、ドローンを使用して上空から撮影した映像がございましたので、別途資料にて送付致します。

植林したマングローブの根元に、地元でロカンと呼ばれる貝が集まります。この貝は茹でたり煮たりして食べることができ、レストラン等でもよく見かける貝です。アディ氏は植林地を地元住民にも開放し、住民がこの貝の採取に訪れることもあります。この貝は殻が大きく厚みがありますので、貝を採取しに来た住民が殻を剥いて中身だけ持ち帰ることを行っており、殻を剥いたあとの貝殻があぜ道に山積みになっている様子が見られました。



成人男性の身長を大きく超えて成長しています。





ドローン撮影。綺麗に一行に整列されています。



あぜ道で見られたロカンの貝殻



ロカンの殻

植林地 C

植林地 C は第 2 回目（2020 年 9 月）及び第 3 回目（2021 年 3 月）の植林活動にて植林を行っております。2023 年 12 月時点で 2 年 9 カ月～3 年 3 カ月程が経過しています。

植林地 C のマングローブも順調に成長しており、一部のマングローブは既にアディ氏の身長を超える高さまで成長していました。また 70～80%程のマングローブに支柱根を確認することができました。





植林地 D

植林地 D は第 3 回目（2021 年 3 月）及び第 4 回目（2021 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。2023 年 12 月時点で 2 年 3 カ月～2 年 9 カ月程が経過しています。

植林地 D のマングローブも順調に成長しており、ほとんどのマングローブに支柱根が生えていることを確認することができました。

前回視察時にはまだ下草が残っていましたが、今回の視察時には前回視察時よりも更に少なくなっており、あぜ道から見ても気にならない程度でした。下草の背丈が伸びすぎない様に、アディ氏及びマングローブ愛好家の方々が、管理作業の一環として定期的の下草刈りも実施しています。また、今回の視察時には、ちょうど下草刈りの作業を行っている場面も見ることができました。



草刈りの様子（草刈り機使用）

草刈りの様子（鉞使用）

植林地 E

植林地 E は第 4 回目（2021 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。2023 年 12 月時点で 2 年 3 カ月程が経過しています。

植林地 E のマングローブもほとんどのマングローブに支柱根が確認でき、葉も多くついており、順調に成長しています。今回の視察時には植林エリアのあぜ道に草が繁茂して道を塞いでいたため、植林エリア内に入ることができませんでしたので、ドローンを使用して写真撮影を行いました。



植林地 F

植林地 F は第 5 回目 (2022 年 3 月) の植林活動にて植林を行っております。2023 年 12 月時点で 1 年 9 カ月程が経過しています。

植林地 F にはインドネシア政府がコロナ禍に対する住民支援の一環として数年前にマングローブ植林を行ったものの、管理されずに放置されたマングローブがあり、それらのマングローブも「リコー ビンタンの森」のマングローブと共にアディ氏によって管理されています。

「リコー ビンタンの森」のマングローブには既に支柱根が生えているものもあり、幹がしっかりと太く真直ぐに伸びており、順調に成長を続けています。





植林地 G

植林地 G は第 6 回目（2022 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。2023 年 12 月時点で 1 年 3 カ月程が経過しています。

植林地 G でもインドネシア政府の新型コロナに対しての支援により植林され放置されたマングローブが残存していますがこの残されたマングローブもアディ氏の意向により「リコー ビンタンの森」と共に管理されています。

今回の視察時は、植林エリアに渡る橋が浸水していたため、植林したマングローブを近くで確認することはできませんでしたが、植林地 G の北側のあぜ道から確認を行っています。遠くから撮影していますが、写真でも葉が多くついているのが見えており、前回視察時には 6～8 対(12～16 枚)程の葉をつけていましたが、今回の視察時には更に多くの葉をつけていました。



植林地 H

植林地 H は第 7 回目 (2023 年 3 月) 及び第 8 回目(2023 年 10 月)の植林活動にて植林を行っております。2023 年 12 月時点で 3 カ月～9 カ月程が経過しています。

植林地 H の第 7 回目植林のマングローブは活着率も良く、葉を多くつけており、幹も太く真直ぐに伸びており、アディ氏の管理の下順調に成長しています。第 8 回目のマングローブも既に 10～12 枚(5～6 対)程の葉をつけており、順調に成長しています。

植林したマングローブの葉に、たくさんの貝がついている様子が見られました。アディ氏の話によると、この貝はマングローブの若い葉を好んで食べ、植林エリアにたくさん集まってくるそうです。小さな貝ですが、地元住民の間ではこの貝を煮たり炒めたりして食べるそうです。あまり貝が増えすぎてもマングローブの成長の妨げになるため、地域住民にこの植林をエリア開放して、この貝の採取を許しているそうです。



2023 年 3 月植林のマングローブ



2023 年 3 月植林のマングローブ



2023 年 3 月植林のマングローブ



2023 年 3 月植林のマングローブ



2023年3月植林のマングローブ



2023年3月植林のマングローブ



2023年3月植林のマングローブ



2023年3月植林のマングローブ



今回(2023年10月)植林のマングローブ



今回(2023年10月)植林のマングローブ



今回(2023年10月)植林のマングローブ



今回(2023年10月)植林のマングローブ



今回(2023年10月)植林のマングローブ



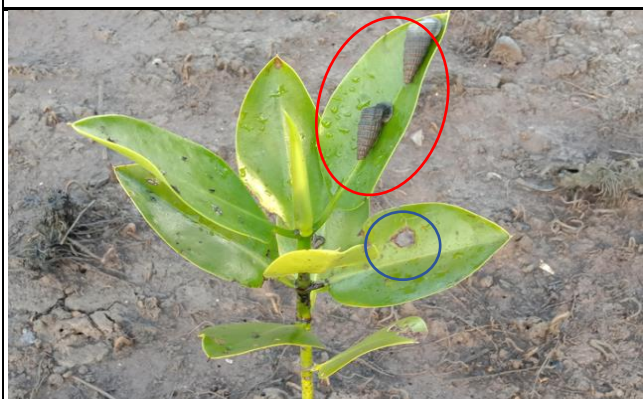
今回(2023年10月)植林のマングローブ



今回(2023年10月)植林のマングローブ



今回(2023年10月)植林のマングローブ



マングローブの葉に集まる小さな貝(赤丸)
貝が葉を食べた跡に穴が開いている(青丸)



マングローブの葉に集まる小さな貝(赤丸)

以上